



オーストラリアワーキングホリデー

現地編

～滞在と帰国後を少し楽にできる手続き編～

◆確定申告(tax back)◆

◆銀行口座編◆

◆アニュエーションの申請の仕方◆

◆滞在中に渡航資金を手に入れられる方法～確定申告◆

上記の写真はオーストラリアの確定申告 (tax return) で、一年目は 1901ドル、二年目は 7900ドルを手元に戻しています。

さて？なんでしょう？

それは「確定申告」です

現地では「**tax return**」と呼ばれています。さりげなく多くのワーホリメーカーはこのことを知りませんし、仕方がわからないということで敬遠しています。

下記の写真が 2012 年の還付金です。

REPAYMENTS	\$0.00
HELP	\$0.00
SFSS	\$0.00
TAX CREDIT	\$1,901.00

二年目はというと・・・下記のようにになります。二年でおよそ 100 万円ですね？当時為替は 95 円だったので 95 万円が手元の戻ってきたわけですが、これだけの還付金があったら語学学校へもいけますよね？何かしらしたいこともできますよね？

ESTIMATED REFUND CALCULATION	\$7,919.80
GROSS REFUND	\$75.00
SERVICE & TRUST FEES FEES	\$7,919.80
NET REFUND	

だから本当にワーキングホリデーメーカーはもったいないんですよ。だからこそこういうことを知って快適にワーホリを楽しんでもらいたいと思っています。

◆確定申告の仕方◆

大まかに言えば3つの方法があります。

- 1 ATO からその年の確定申告のフォームをPDF でダウンロードしてそれに記入する
- 2 モールの出張税理士に任せる
- 3 オンラインから税理士に任せる

の方法が有り、僕はまず1番の方法はおすすめしません。なぜならネイティブもできないから。

もしやりたいなら移民弁護士クラスの法律の英単語を知っている人に頼むことが必要ですし、必然的に料金が高いのでおすすめしません。

まず個人でやるのは不可能と思ったほうがいいです。ネイティブのイギリス人に手伝ってもらいましたが、「わからない」といって途中で投げ出されてしまったので仕方なく一年目はオンラインからやることにしました。

◆オンラインからやる

まずは確定申告の委託料金の相場から。

基本的に100ドル以上出さないほうがいいですし、それはぼったくりです。僕が使った現地のオンラインエージェントは68.5ドルでした。

僕オススメのエージェントはここ



<https://www.etax.com.au/>

ここはインターネットからできるし、実は質問な数がぐっと減ります。

税理士を使わないなら200問以上の質問に答える必要があり、間違え方によってはビザの停止に

なりかねないから必要経費として誰かしらの税理士を使いましょう。

依頼料が 400ドルという所もありますが、高額なところは避けましょう。そこまで出す必要もないですから。相場としては 100ドルまでが限界です。

3 ショッピングモールに必要な書類だけ持っていくだけ

日本でいう年末調整の時期は 12 月です。しかしオーストリアや外国は 7 月からになります。その時期になるとどの年でも、ウールワースのあるような大きなショッピングモールに必ずショッピングモールに税理士が出張していますので、そこに必要な書類だけぽんと出すだけで終わります。

オンラインからやらざるを得ない状況でない限りこちらをおすすめします。

右の写真は当時のケアンズのメインモールですね。

若干割高になりますが、はっきり言って時間や手間を考えたなら全然こっちのほうが簡単ですのでぜひ近くのモールに行ってください。

むしろ経費のことがいろいろ聞けてお得です。

僕が聞いたところでは、仕事を取るために移動した貢献のチケットが実は経費としてカウントされるので航空券はなくさずにとっておきましょうね。



メールボックスは航空券のところだけで分けるなどしておいたら効率的です。

◆確定申告に必要なもの

1. ビザ
2. パスポート
3. TFN
4. それまで働いてきた場所の Pay G サマリー (源泉徴収)、もしくは pay-slip (給料明細)
5. 働いた場所の住所
6. その他仕事を取る時にかった経費を証明できるもの

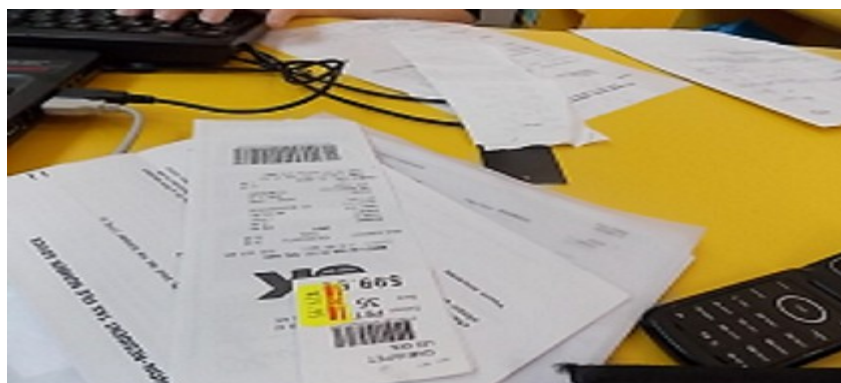
が必要です。僕の場合は安全靴のレシートをもっていきました。これは経費としてカウントされたのですが、実は有給インターンのプログラム費用はカウントされません。

仕事を取るためにその会社に登録したのに、仕事を取るための経費なのに！！納得はしていませんし、何より税理士の反応が変だったのが気がかりです。

何故か怒り気味に対応したからです。理由は今もわかりません。何かあるかもしれませんね。

僕は何も分からずにとにかく証拠だけは持ち歩いていたので写真のようにとにかく税理士に見せて何が経費になるのかを選別してもらいました。

K マートの安全靴の領収書は懐かしい！でもこういうものはちゃんと持ち歩いておくと本当に助かります。ワーホリ、旅を続けるということに重点を当てたらこのことは必要不可欠なことです。



◆確定申告の都市伝説～確定申告すると実は追加徴税されるからしないほうがいい

確定申告は僕のように必ず帰ってくるのでしょうか？中には確定申告すると追徴を払わなければいけないからかえってくるおかねなんかないという人もいます。実際に追加徴税を払った人もいますよね。

ここでなぜ？追加徴税をはらうのか？について解説します。

1 TFN(タックスファイルナンバー)の申請区分が申請した時点で非居住者になってない

この部分はTFNを申請した時点での話をしています。中にはエーエージェントにTFNの申請を任せてしまったために居住者区分で申請がされてしまった方の場合、絶対に還付金はないです。

上のケースはごくまれでありますがないわけではないです。

まず永住者のように「居住者」の所得税率はおよそ **19%です**。しかし所得の高さによって変わりますので一概に言えません。

そしてまずはオーストラリアの税金の所得税率を下記に書きます。そして追加徴税の金額はおおよそ14%の金額です。下記の表が2015年の税金の改定後のパーセンテージです。

General individual income tax rates for residents

\$0 – \$18,200 0% ! (居住者は無料なんです)

もし申請区分を間違ってしまうていばここから税金が発生します。

\$18,201 – \$37,000 19% 19c for each \$1 over \$18,200

18201ドルから課税でここから税金がかかります。オーストラリアの課金はシンプルでこの容量で所得に対してお金がかかり、下記の要領で所得税のパーセンテージが変わります。

\$37,001 – \$80,000 32.5% \$3,572 plus 32.5c for each \$1 over \$37,000

以下の金額にも税金はかかっていますがワーキングホリデーメーカーが8万AUSドルを稼ぐということはまず不可能なので参考程度にしておいてくださいね。

\$80,001 – \$180,000 37 % \$17,547 plus 37c for each \$1 over \$80,000

\$180,001 and above 47% \$54,547 plus 47c for each \$1 over \$180,000

そしていかがワーホリメーカーのような短期滞在者の税金区分です。

Non-resident minors' tax rate on eligible income

Taxable income (\$)Rate (%)

Up to \$416 29% on the entire amount

\$417 to \$732 \$120.64 plus 66% on the part over \$416

\$733 and over 45% on the entire amount

上記の赤で書いた29%というところがワーキングホリデーメーカーの気にすべき数字です。

そしてTFNの申請で「居住者区分」にしてしまった場合は10%の追加徴税を払うということです。

要するにあなたがそれまで働いてもらった給料の総支給額に対しての税金があり、居住者扱いの税金率と非居住者扱いの税金の率を引いた分が使い徴税出払う金額です。

2 雇用者が非居住者の扱いで税金を申請していない

このケースもうっかりしているとあるケースです。オーナーが店の売り上げを大きく見せるために雇用している従業員の税金の区分を居住者扱いにしているケースです。これはごく稀ですし、追加徴税を払ってわかるケースです。

この場合、オーナーが悪いということではなく TFN の申請区分が居住者になっている事が有り、代理申請でミスをしたエージェントが悪いというケースがあります。もちろんオーナーサイドも落ち度があるかもしれません。この場合はオーナーを疑うよりもまずは自分のタックスファイルナンバーの区分調べましょう。

その際はこちらへ問い合わせましょう。

税務局の電話サービス 132861

日本語通訳サービス 131450

◆確定申告の還付金を予測できないか？～return というのはあくまで「申請」するの意味

確定申告の (tax return) の時に還付金が予測しておきましょう。それと「**tax return**」というリターンと書かれているので「必ず還付金が帰ってくる」という印象がありますが違います。

基本的に「申請して、過払い金があったら返しますよ」ということなのでもし「過払いでないなら払ってくださいということになる」のがオチなんです。かといってもちゃんとしないといけないのが義務なので仕方がないですが・・・

1 まずは自分で還付金を予測してみる

Comprehensive tax calculator

<https://www.ato.gov.au/Calculators-and-tools/Comprehensive-tax-calculator/>

上記URLがオーストラリアの税務署が持っている「還付金計算機」というサイトです。ここで必要事項を入れることであなたがいくら還付金を受け取れるかを計算することができます。

It will take these, along with other tax credits, into account in estimating your tax refund or debt.



Work it out

- [Comprehensive tax calculator 2014](#)
- [Comprehensive tax calculator 2013](#)
- [Comprehensive tax calculator 2012](#)

上記のURLから入って画面をスクロールさせるとこのような項目があるのであなたの働いた年度の税率で計算してくださいね。近年では物価の上昇、賃金の値上げが起きているので逐一オーストラリアの税務署のHPはチェックしておきたいです。

◆税金と同時に自分の適正時給も知っておく◆

基本的に年代ごとによって最低時給が分かれているという複雑な法律です。それと正規の給料を払わない雇用主が大半なのでちゃんと自分の職種を知っておきましょう。

Pay rate checker

<http://www.fairwork.gov.au/pay/minimum-wages/pay-guides#h>

上記URLがオーストラリアの時給が適正なのかどうかを計算するツールになります。このサイトの質問事項にあなたが今働いている場所の職種や役職があればその役職を入れましょう。ちゃんとした正規の時給が反映されますよ。

An adult で計算しましょう。オーストラリアの州ごとの時給の差額は反映されていませんので細かいところは雇用主に確認、もしくは給料明細で確認してください。

Pay guide

<http://www.fairwork.gov.au/pay/minimum-wages/pay-guides#h>

ワードデータで職種ごとの時給がまるわりのサイトです。職種のポジションごとの給料や15歳の人の最低時給も書かれているので参考になりますし、ここで職種のキーワードを拾って仕事の検索に使ってしまうのも手です。

◆そんなに追加徴税にビクビクする必要があるのか？◆

ここまでは確定申告に対して重苦しく説明してきましたが、そんなに身構えなくてもいいですよ。基本的に自分ひとりでやる「TAX PACK」という日本でいう確定申告の用紙が街中のニュースエージェンシーや市役所に置いてあります。それを見ながらできる人はやってみてもいいです。

基本的に70ドル前後を払ってしまっただけで税理士に任せたほうがいいです。質問の数が圧倒的に減りますから。居住者としての申請は同じ街、場所に6ヶ月滞在することで居住者としての申請ができます。僕の場合は一箇所で6ヶ月働いていたので居住者としての申請をしてました。

自分ひとりでやろうとしないです。まずはこの章の前であげたオーストラリアの税務署の還付金の計算できるサイトで計算するのがいいでしょう。

海外は相談に手数料を取ることがほとんどなので余計なお金を払うことを極力避けましょう。

PAYG payment summary - individual non-business
Payment Summary for year ending 30 June 2012

<p>Payee details</p> <p>SHIMADA IZUMI</p> <p>Period of payment</p> <p>Payee's tax file number</p>	<p style="text-align: center;">NOTICE TO PAYEE</p> <p><small>If this payment summary shows an amount in the total tax withheld box, you must lodge a tax return. If no tax was withheld, you may still have to lodge a tax return. For more information about this payment summary or lodging your tax return, you can:</small></p> <p><small>visit www.ato.gov.au refer to TaxPack phone 13 28 61 between 8.00am and 6.00pm Monday to Friday.</small></p> <p>Day/Month/Year 25/10/2011 to Day/Month/Year 30/06/2012</p> <p>TOTAL TAX WITHHELD \$ 1540</p>
--	--

<p>Gross payments \$ 10175</p> <p>CDEP payments \$</p> <p>Reportable fringe benefits amount FBT year 1 April to 31 March \$</p> <p>Reportable employer superannuation contributions \$ 0</p> <p>Total allowances \$</p>	<table border="0" style="width: 100%;"><tr><td style="width: 60%;"></td><td style="text-align: center;">Lump sum payments</td><td style="text-align: center;">Type</td></tr><tr><td>A</td><td>\$</td><td><input type="checkbox"/></td></tr><tr><td>B</td><td>\$</td><td></td></tr><tr><td>D</td><td>\$</td><td></td></tr><tr><td>E</td><td>\$</td><td></td></tr></table> <p><small>Total allowances are not included in Gross payments above. This amount needs to be shown separately in your tax return.</small></p>		Lump sum payments	Type	A	\$	<input type="checkbox"/>	B	\$		D	\$		E	\$	
	Lump sum payments	Type														
A	\$	<input type="checkbox"/>														
B	\$															
D	\$															
E	\$															

上記のPAY-Gは僕の実際の一年目の明細です。この程度でも1901ドル貰えました。しかしこの明細は2012年のものなのであまり参考にならないかもしれません。とにかく

Pay guide <http://www.fairwork.gov.au/pay/minimum-wages/pay-guides#h>

を使って調べましょう。